

令和3年度の企画展示等の実績です。

1. 「国営讃岐まんのう公園ポスター展」

(令和3年3月16日(火曜日)～4月27日(火曜日))

四国で唯一の国営公園である「国営讃岐まんのう公園」では、四季折々の花々を觀賞したり、芝生広場や遊具などで思いっきり体を動かしていただけるほか、各種の体験教室やイベントを開催し、県民の皆様にも親しまれています。

今回のポスター展では、このような「国営讃岐まんのう公園」の魅力の一端をご紹介します。

熱中症対策やコロナウイルス感染症対策をして、ご来園下さい。



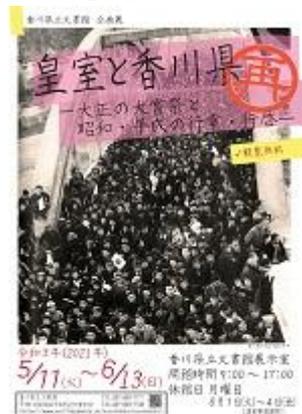
2. 「皇室と香川県-大正の大嘗祭と昭和・平成の行幸・行啓-(再)」

(令和3年5月11日～6月13日)

【「中国四国地区アーカイブズウィーク」、「国際アーカイブズ週間」参加事業】

令和2年度に開催した「皇室と香川県」展。皇室と香川県のかかわりを、文書館所蔵のアーカイブズからご覧いただきました。しかし、感染症拡大防止のため、なかなか多くの方にはご来館いただくことができませんでした。そこで、令和3年度も1か月限定で「再(ふたたび)」の「皇室と香川県」展を開催しました。

大正の大嘗祭で西日本唯一の主基地方となった香川県の姿。また、昭和・平成の天皇皇后両陛下の行幸啓をはじめ、皇室の方々をお迎えした香川県民。そんな皇室と香川県のかかわりを、新しく展示する資料も交えながら紹介しました。



3. 「文書館のイッピン展」

(令和3年6月18日～8月22日)

展示づくりは大変です。展示のテーマを決め、それに沿った資料を文書館の収蔵資料の中から探し出し、展示室を形づくっていきます。

ところが、テーマ通りの資料が揃わないことがあります。そもそもテーマを決めづらい資料もあります。令和3年度文書館の企画展示では、そんなテーマでくくり切れずに展示する機会の少なかった一品もの、けれども実は逸品かもしれない、文書館のイッピンたちを集めてみました。

知る人ぞ知る資料から、近年収蔵された初お目見えの資料、一度はじかにご覧いただきたい資料など、展示品も様々です。

文書館にこんな資料があったのか、と文書館の新たな魅力を発見していただければと願っております。



4. 「国営讃岐まんのう公園ポスター展」

(令和3年8月24日(火曜日)～9月12日(日曜日))

四国で唯一の国営公園である「国営讃岐まんのう公園」では、四季折々の花々を觀賞したり、芝生広場や遊具などで思いっきり体を動かしていたただけるほか、各種の体験教室やイベントを開催し、県民の皆様にも親しまれています。

今回のポスター展では、このような「国営讃岐まんのう公園」の魅力の一端をご紹介します。

熱中症対策やコロナウイルス感染症対策をして、ご来園下さい。



5. 企画展「せとうち・香川の歴史と文化を今に伝える文化財を未来へ」

(令和3年9月14日(火曜日)～9月26日(日曜日))

香川県教育委員会では、平成30年の文化財保護法の改正に基づき、今後の本県の文化財の保存や活用に関する基本的な方針を盛り込んだ「香川県文化財保存活用大綱」を昨年度策定しました。本企画展では、本大綱の概要についてご紹介するとともに、県内各地域を代表する文化財や各市町・県の取組みについてもご紹介しました。

(香川県教育委員会事務局生涯学習・文化財課)

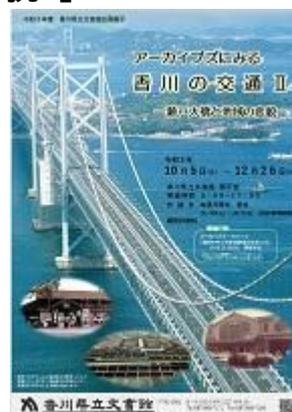


6. 「アーカイブズにみる香川の交通 2-瀬戸大橋と地域の変貌-」

(令和3年10月5日(火曜日)～12月26日(日曜日))

瀬戸大橋、四国横断自動車道、新高松空港は、昭和から平成の時代にかけて香川県が推進してきた「三大プロジェクト」です。これまでの企画展示でも、これら3つの大規模事業が完成に至る経緯や関連事業等を紹介してきました。

この度の展示では、瀬戸大橋が開通した昭和の終わりから平成の初めの架橋に伴う交通体系の変化や、都市開発整備について詳しく取り上げました。地域の様子が大きく変貌した宇多津町や丸亀市に関する当館所蔵の県公文書や行政資料などの記録資料(アーカイブズ)を紹介し、加えて当時を物語る写真や地図などの地域資料も展示しました。豊かなアーカイブズ群をご覧いただき、懐かしさも感じていただけたと思います。



7. 重要文化財答申記念ミニ展示「香川県庁舎旧本館・東館のアーカイブズ」

(令和3年12月7日(火曜日)～12月26日(日曜日))

このたび、国の文化審議会において、香川県庁舎旧本館及び東館(香川県庁舎東館)を重要文化財建造物に指定することが文部科学大臣に答申されました。

これを記念して、昭和33年(1958)に香川県庁舎本館として建築された当時の様子を伝える記録資料(アーカイブズ)4件を紹介しました。重要文化財へと向かう、その始まりの姿をご覧いただきました。



香川県庁舎竣工記念絵はがき「県庁舎全景」

8. 「香川県環境配慮モデル認定制度」

(令和4年1月5日(水曜日)～1月27日(木曜日))
(ただし、1月11日(火曜日)は休館日です。)

香川県では、環境に配慮した事業活動を推進するため、環境配慮の観点から他の模範となるリサイクル製品や環境負荷の低減に取り組む事業所を「モデル」として認定する「香川県環境配慮モデル認定制度」を設けています。対象は、環境負荷の低減の取組みにおいて、同業他社の模範になると判断される「環境配慮モデル事業所」と、廃棄物等を使用して、県内で製造加工され、販売されている「リサイクル製品」の2種類です。現在、モデル事業所は18事業所、リサイクル製品は、30製品を認定しています。

今回展示したのは、リサイクル製品の16製品になります。廃棄物を低減するための取組を知っていただき、循環型社会の形成に興味を持っていただければ幸いです。
(香川県環境政策課)



9. 「まちかど生き物標本展」

(令和4年2月1日(火曜日)～2月25日(金曜日))

今回の標本展では、「生き物を見て・感じる」をテーマに、自然史家川口敏氏が作成した鳥の標本・恐竜の復元図や模型を公開し、同氏の原画やポスター解説を通して、鳥と恐竜の共通点について紹介しました。

皆さまには、この標本展を通して、香川の自然に興味を持っていただくとともに、香川の豊かな自然を将来へつなぐことを考えていただくことにより、香川の環境を守り育てる人づくりのきっかけとなることを願っています。

(香川県みどり保全課)



10. 「令和3年度火災予防ポスター優秀作品展」

(令和4年3月2日(水曜日)～3月13日(日曜日))

春の全国火災予防運動の実施に際して、香川県内の小学生が描いた火災予防ポスター(応募総数2,235点)のうち、優秀作品として選出された計51点(香川県知事賞17点、香川県消防協会会長賞17点、香川県幼少年婦人防火委員会会長賞17点)の作品を展示しました。

火災が発生しやすい季節です。作品をご覧いただき、改めてご家庭での火災予防について考えていただければと思います。

(香川県危機管理課)



11. ポスター展「香川県森林センターだより」

(令和4年3月15日(火曜日)～3月27日(日曜日))

香川県森林センターは、昭和29年に林業指導所として設立以来、林業振興のため実用技術の開発と普及指導に努めています。

今回は、農業大学校の森林演習や若手の林業技術者の育成など最近の人材育成の取組みや試験研究についてご紹介しました。あわせて、身近な森からの恵みの暮らしの中での活用を提案する「かがわ県産広葉樹と檜の物語」のポスター展示も行いました。

(香川県森林センター)

